



沼津朝日新聞社 沼津市末広町34 410-0888 TEL 962-4840 FAX 962-4590 URL numaasa.com 1ヶ月 730円・1部 40円

自転車のヘルメット

4月から着用が努力義務に

改正道路交通法のうに努めなければならぬ、とされているが、改正によって4月1日から、自転車に乗る全ての人がヘルメット着用を努めなければならぬ。また、運転する人だけでなく、同乗する人にも着用させるように努めなければならず、最近では子どもを後ろ、あるいは前後に乗せて走る自転車もあるが、いずれの場合も全員が着用あるいは着用させる努力義務が生じる。



4月からのヘルメット着用努力義務化を高校生などに広げる警察官ら＝沼津駅北口駐輪場で

現行と同様、保護者が、自転車を運転する幼児や児童にヘルメットをかぶらせるように努めなければならぬことは変わらない。

都会では、コロナ禍となつて通勤、通学で満員となる電車など公共交通機関を避けたいという人が増えている。人やデリバリー配達での自転車利用が増えたと聞かれるが、それに伴うトラブルや交通違反・事故が増えている。都会だけでなく、地方においても自転車の信号無視や歩道

山秋眼科医院

Table with hospital hours: (月・金) 9:00~12:00, 14:00~17:30; (火) 9:00~11:45, 16:00~17:30; (水) 9:00~11:45, 15:00~17:30; (土) 9:00~12:00. Address: 沼津市筒井町1-5 TEL 924-4680

走行の際の歩行者妨害など、状況によっては死亡事故になりかねない悪質運転もあり、歩道を走行し前方の歩行者にヘルメットをかぶせようとした場合などは自転車で「煽り運転」として処罰の対象となる。自転車の死亡事故では、6、7割が頭部への衝撃が致命傷だといわれ、ヘルメット未着用の場合の致死率は着用時の2倍強とされる。

今回の広報活動は4月1日の改正道路交通法施行2カ月前となったことから実施されたもので、同署交通第一課から土屋直也課長はじめ同課署員、市役所生活安心課職員、県交通安全協会沼津地区支部交通安全指導員の合わせて9人が参加。同署と同支部が合同で作製した今年4月1日から自転車に乗るすべての人を対象に自転車用ヘルメットの着用が努力義務となり「ヘルメットをかぶろう」というメッセージが書かれたチラシを配布し、未着用の場合の死亡率の高さを訴え、ヘルメット着用を促した。

同駐車場は、沼津駅まで電車で来て自転車に乗り換えて駅北の学校に向かう高校生や、自転車に乗る社会人などが多く利用。広報参加者は約1時間の活動で89枚のチラシを配布した。交通第一課の山内令奈巡査は「大きなけがにつなげないためにも頭を保護することは重要。努力義務であり拘束力は無いが、ヘルメット着用は身近な木を有効活用して家具などに市役所や総合庁舎で製品展示会ヨキカグ実行委員会

ステーキ 肉の元祖 古安 沼津市上本町角 2階 レストラン 電話 29984 3階 お座敷 電話 14112

全日写真連沼津支部が作品展 3年ぶりテーマ写真や自由写真 全日本写真連沼津支部の作品展が8日まで、大手町の静岡銀行沼津支店8階しずぎんギャラリー四季で開かれている。同支部は、全日写真連関東本部委員の江連康晴さんが指導講師を務め、毎月第4土曜日に金岡地区センターで開く例会で指導を受け、日帰りや一泊で撮影会を開いている。

支部展の開催は3年ぶり。「伊豆」をテーマにしたモノクロ写真では、海越しの富士山を望む西伊豆の風景、シオサイト、アユ釣りをしている人など、伊豆半島で捉えた写真を1点ずつ、自由作品は、富士山や旅先の風景を

用的重要性を、これからも伝えていきたい」と話した。同課では、施行1カ月前の3月1日、今度は南口で同様の広報活動を実施する予定。

昨年11月の県内の定期給与 8月以来の前年同月比減 昨年11月における県内の定期給与は前年同月を下回った。前年同月比減は8月以来で、県による毎月勤労統計調査地方調査結果で分かった。



全日写真連本部が開いた写真展では

賞金 1人平均月間定期給与(所定内給与)超過労働給与)は25万8717円、名目賃金指数はじめ人物や動物、日常のスナップなど3点ずつを出品した。全日写真連本部が開いた写真展では

1階ロビィで開いている。同プロジェクトは、県内の林業家、製材所、家具職人、デザイナ―、学識経験者ら、顔が見える関係